

会議録

会議の名称	令和3年度 第1回加西市総合政策審議会
開催日時	令和3年6月14日(月) 午後2時00分～3時40分
開催場所	加西市役所 5階大会議室
<p>議長の名 (会長 杉山 武志)</p> <p>出席及び欠席委員の名</p> <p><出席委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・上田尾 真 ・大野 聖佳 ・久米澤 稔 ・後藤 直樹 ・後藤 政博 ・菅原 知美 ・杉山 武志 ・鈴木 忠樹 ・高木 雄太 ・高見 千里 ・谷勝 公代 ・辻田 聡信 ・濱本 泰秀 ・山下 光昭 <p><欠席委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中野 重美 	
<p>傍聴者の人数</p> <p>一般：なし 報道機関：なし</p>	
<p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと創造部長 千石 剛 ・ふるさと創造部人口増政策課長 藤後 靖 ・ふるさと創造部人口増政策課課長補佐 後藤 伸嘉 ・ふるさと創造部人口増政策課係長 岩野 裕之 ・ふるさと創造部人口増政策課主任 千種 健史 ・ふるさと創造課人口増政策課主任 垣谷 直宏 ・ふるさと創造部人口増政策課主事 牛尾 充宏 ・ふるさと創造部人口増政策課まちづくり推進員 小山 映 	
<p>1 議事</p> <p>(1) 加西市総合政策審議会の概要・進め方</p> <p>(2) 第6次加西市総合計画の策定経過</p> <p>(3) 実施計画(令和2年度実績)における評価・検証について</p> <p>2 その他</p> <p>加西市地域創生戦略の状況報告について(令和2年度)</p> <p>3 会議資料</p> <p>資料1～4、参考資料</p> <p>別紙「加西市地域創生戦略の状況報告について」</p> <p>4 会議の経過</p> <p>⇒別紙「第1回加西市総合政策審議会の経過」のとおり</p>	

(別紙) 第1回加西市総合政策審議会の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
ふるさと創造部長	<p>1 開会 <加西市ふるさと創造部長あいさつ> ・コロナ情勢も落ち着きを見せつつも見通しが定かでない状況の中お集まりいただき感謝申し上げます。 ・昨年度は第6次総合計画の策定に当たり様々ご議論をいただき、12月の答申をもって3月議会に上程し、原案通り可決された。この新計画を市民とも共有すべく5月24日に市民会館で市民報告会を開催した。市長の意向もあり、対話型の報告会とし、事前質問の回答もその場で説明し理解を深めていただくことができた。 ・今年度以降は新計画を推進していくということになるが、答申の際にはしっかりとしたPDCAサイクルをもって評価検証をしてもらいたいとこの審議会からもいただいたので、今回からはその作業にあたっていただくということになる。 ・長時間にならないようこの会を進めていきたいと思うのでご協力をよろしく願います。</p>
副会長 事務局 会長	<p>2 委員の紹介</p> <p>3 議事 (1) 加西市総合政策審議会の概要・進め方（事務局から説明） ・審議会の委員会構成について、「老若男女」ではないのか。 ・「若女」である。「若」は若い人で、若者と女性の意である。 ・委員メンバーが代表となっている団体や業界の頭文字を取って並べているだけと解される。</p>
委員	<p>(2) 第6次加西市総合計画の策定経過（事務局から説明） [質問・意見なし]</p>
事務局 委員	<p>(3) 実施計画（令和2年度実績）における評価・検証について（事務局から説明） ・市民会館が耐震化工事をして昨年10月から供用開始とあるが、老人クラブの関係では今年9月に芸能祭りがあり、福祉会館がコロナワクチン接種会場のため使用できない。福祉会館では、玄関までバスが来て車イスで入れるが、代替会場となる市民会館では駐車場から県道を渡り市民会館に行かなければならないため非常に利便性が悪い。 ・2階の南側に大型バスが入れるよう要望を出し、今年度825万円の予算がついたが、工事完了は9月で間に合わない。工事をするのは建設の部局と言うがその辺りの担当課との連携はどうなっているのか。職員が減らされていて難しいのだろうと思うが、耐震工事をするなら、また大きなお金を使うなら合わせて付加価値をつけて市民会館を利用できるような発想には至らなかったのか。 ・担当課に伝え、いただいた意見を共有するようにする。 ・市民会館にバスが入れるようにすれば障害者でも高齢者でも車イスで館内に入れるようになる。計画を立てる際には、こうした会議で意見を出し合って良いものができるのであろうが、いろいろな角度から見て事業は進めるべきである。</p>
副会長	<p>・評価検証だが196枚の個票があり、1日で30事業の評価をしなければならない。2時間では読むだけで終わってしまいそうなのでよく考えてもらいたい。 ・取組結果に関しては、良いことしか書かれていない。評価検証のところでは良いところは良いで放っておいて、PDCAをまわすためにも問題点を際立たせて民間の知恵を借りることが本来の趣旨である。 ・評価のところではAとCがあればBにするとか、パーセンテージも200%と40%で平均して70%にするというのは無茶苦茶で、我々の世界では母数がほぼ同じで重要性も同じであれば足して割ったとしても良いが、施策自体がどのようなウエイトで重要な施策なのかによって全然違ってくる。重要な方が200%であるならうれしい話だが。本来の施策が40%なのに付け足して行った施策が倍ほどだとして結果70%と言われても困ってしまう。今回の検証については、前計画に係るものであり、既に完了した話なのでサッとイケば良いと思うが、この中で行政側として特に問題意識をもっている部分をピックアップして部会で議論してみてもどうか。196事業すべてを評価してもきりがないので工夫してもらいたい。</p>
会長	<p>・大変は大変だが、どこが良くてどこが悪かったのかが一目でわかるというのが理想だと思う。</p>

<p>会長 事務局 会長 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・また、各部会長は、部会①は昨年度から引き続き谷勝委員、部会②についても昨年度から引き続き濱本副会長、部会③は新任の委員が多いが山下委員ということでお願いする。 <p>4 その他 加西市地域創生戦略の状況報告について（事務局から説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議事に入れなくていいか。 ・総合政策審議会の役割ではないため、報告という形でご意見を賜りたい。 ・令和7年度が最終年度になるがどういった評価検証となるのか。 ・総合計画の前期計画が令和7年度まで、地域創生戦略も令和7年度までということで両方の見直しが令和7年度の時点で迎えるということになる。前回の総合政策審議会の中での作業と同様に5年間の評価検証と次の見直しというところで皆様のお力添えをいただきたい。
<p>会長 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新計画の前年度に当たる年は、会議の回数が多いということになるのか。 ・令和2年度は7回程度させていただいたのでそれと同じくらいになる。
<p>会長 副会長 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ※注）見直しの年度は、最終年度である令和7年度となる見込み。 ・会議回数を今から想定しておいた方がよい。7回では足りないのでは。 ・戦略を先にやった方がいい。 ・計画ができたばかりだが、次の見直しに向けたスケジュールを考えていきたい。
<p>副会長</p>	<p>5 閉会 <副会長あいさつ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回はプロローグで次回からが本番である。 ・送付される資料をしっかりと読んで次回説明を聞いてもらいたい。行政文書は難しく理解しづらいが事前に読み込んで次回に備えていただきたい。 ・今日は発言が少なかったが、この場は皆様が発言する場であり、その意見を行政は聞きたがっている。遠慮なく意見を出していただければと思う。